

令和4年7月22日  
定例記者会見資料

Okinawa Smart Industry Innovation V

# おきなわ Smart 産業ビジョン

～ ResorTech Okinawa による産業変革の推進 ～

令和4年7月



## マルチメディアアイランド構想

1998年  
(H10年)

- ・ 沖縄がマルチメディアにおけるフロンティア地域を目指す
- ⇒ 21世紀の産業創出、高度IT化社会の先行モデル地域の形成
- ⇒ 産業集積、人材育成・研究開発の促進、情報通信基盤の整備 等

## 沖縄県情報通信産業振興計画

2002年  
(H14年)

- ・ 観光・リゾート産業と並ぶこれからのリーディング産業として振興を目指す
- ⇒ 地域・特区制度を活用した企業誘致、通信コストの低減化支援等を展開
- ⇒ 情報通信基盤（沖縄ITパーク整備等）の戦略的な整備促進 等

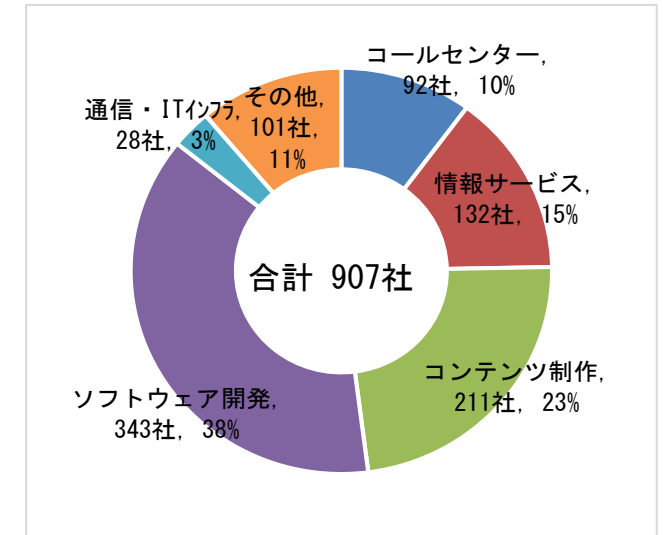
## おきなわSmart Hub構想

2012年  
(H24年)

- ・ アジア有数の国際情報通信ハブ（Smart Hub）の形成により、  
沖縄のリーディング産業としてより一層の発展を目指す
- ⇒ 沖縄IT津梁パーク、沖縄クラウドネットワーク、沖縄情報通信センター、  
国際情報通信ケーブルなど産業インフラの高度化
- ⇒ 先端IT人材育成、アジアITビジネス創出支援、他産業との連携強化 等 2

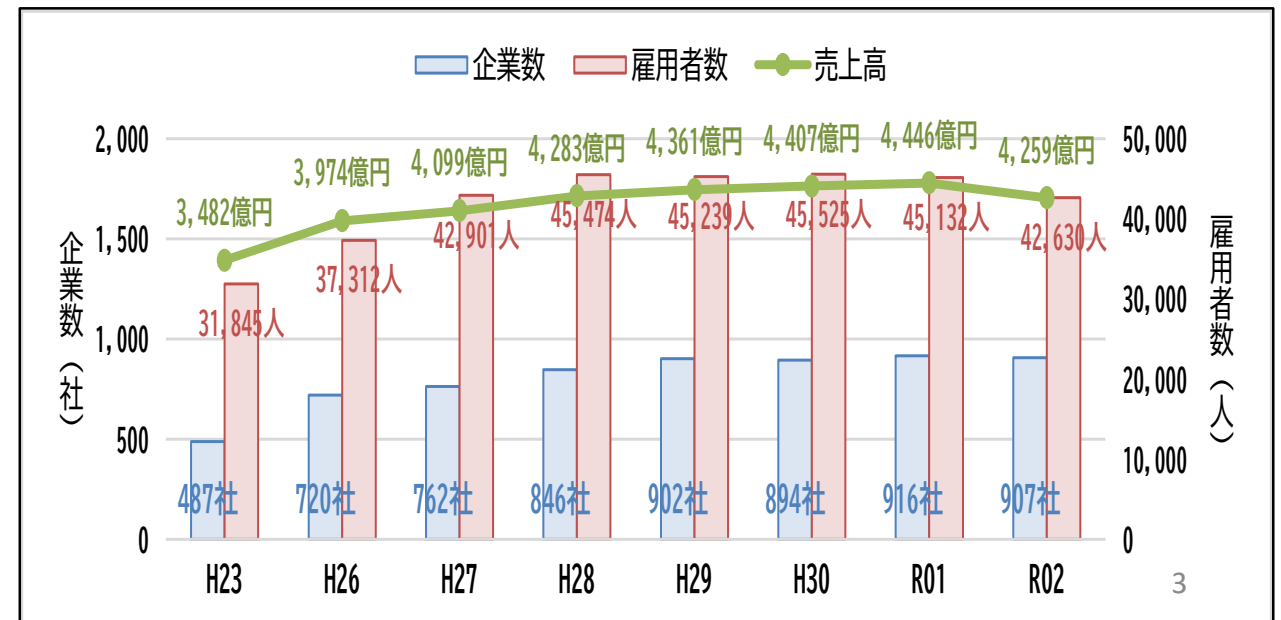
# これまでの施策の成果

- 情報通信産業の企業数は**907社**（10年間で420社増加）  
⇒経済センサスによる事業所数では全国18位（コールセンターは全国7位）
- ソフトウェア、コンテンツ、情報サービスなど多様な企業が集積
- 雇用者数は**4万人超**（10年間で1万人以上増加）
- 売上規模も3,482億円から**4,259億円**と拡大



	(H23年)	⇒	(R2年)
①県内IT企業（全体）	487社	⇒	<b>907社</b>
うち立地企業	237社	⇒	496社
②雇用者数（全体）	31,845人	⇒	<b>42,630人</b>
③売上高（全体）	3,482億円	⇒	4,259億円

（出典）情報通信関連企業雇用状況等調査（沖縄県）



業種	事業所数	全国順位
情報通信業 全体	622件	18位
通信業	51件	17位
映像・音声・文字情報制作業	142件	18位
ソフトウェア開発業	255件	19位
情報処理業	71件	18位
インターネット付随サービス業	72件	14位
コールセンター業	21件	7位

## 1. 労働生産性が全国よりも低い水準

(背景) 付加価値が上がりづらいビジネス特性

**一人当たり付加価値額は全国平均の5割程度**

⇒ソフトウェア開発では下請型・受託型のビジネスが中心

⇒業務や単価は元請けが設定するため付加価値が上がりづらい

⇒結果的に**1人当たり売上額、給与総額、労働生産性が低水準**

(対応) **ビジネスモデルの高度化・転換**

⇒高度化・・・系列型でも元請けに近い**上流工程の業務受注**を狙う

⇒転換・・・顧客や市場に**直接サービスを提供するビジネス**に転換

業種	1人当たり付加価値額 (労働生産性)		1人当たり売上額		給与総額		
	金額 (沖縄)	順位	金額 (全国)	金額 (沖縄)	順位	金額 (沖縄)	順位
情報通信業 全体	539万円	47位	975万円	2,084万円	8位	345万円	44位
うち通信業 等	802万円	29位	—	3,594万円	6位	368万円	40位
うち情報 サービス業 等	389万円	46位	—	1,032万円	44位	329万円	43位

H28経済センサス (労働生産性は事業所集計、売上額・給与総額は企業集計)

## 2. ビジネス環境の変化 (パラダイムシフト)

### (1) ソフトウェア開発の市場変化

⇒クラウドの進展によりシステム開発はサブスク型サービス提供が主流化

⇒独自にシステム開発を行う非IT企業も増加傾向 (IT部門の内製化)

### (2) コロナ禍による企業形態の多様化

⇒コロナ禍でIT企業もテレワーク導入が一気に進展

⇒特定の活動拠点を設けない企業も増加傾向

⇒地方分散拠点化の動きとあわせたワーケーションの取り込み

### 業界全体の構造変革が重要

従来型ビジネスからの転換

顧客・市場との接点強化

IT人材の確保・働き方改革

県内産業のDXの牽引役

# おきなわSmart産業ビジョンの特徴

	従来の構想(~R3)		おきなわSmart産業ビジョン(R4~)
対象範囲	IT産業の振興(集積)	リゾテック おきなわ	IT産業の振興(集積・ <b>構造変革</b> ) + <b>産業DXの推進・加速化</b>
主要施策	企業誘致・高度化 雇用の創出 各産業のIoT利活用 産業インフラの整備	稼ぐ力	企業誘致・ <b>ビジネス高度化・転換</b> 産業インフラの整備・活用、 <b>賃金水準の向上</b> + <b>企業DXの支援、データ利活用促進</b> <b>イノベーションの仕組みづくり</b>
成果指標	立地企業数、雇用者数 IT産業全体の売上額	量から 質へ	県内IT企業数、雇用者数、売上額 + <b>労働生産性(1人当たり付加価値額)</b> <b>従業者1人当たり売上額</b>

## ■基本目標

情報通信産業が変革を通じて「稼げる産業」へと成長し  
産業DXを支えるパートナーとなり  
沖縄の産業の持続的な発展に寄与する。

### 基本施策 1 情報通信産業の構造変革・・・産業変革を通じて「稼げる産業」へと成長する

(施策) ①市場接点の拡大、②ビジネスモデル高度化と経営変革の促進、③高度人材の育成  
④産業基盤／ビジネス環境の充実、⑤情報通信産業振興地域・特区制度の活用

### 基本施策 2 産業DXの加速化・・・情報通信産業がDXのパートナーとなる

(施策) ①企業DXの普及啓発、②DX支援体制の充実、③多様なDX推進人材の育成  
④データ活用基盤の構築

### 基本施策 3 イノベーションの創出・・・沖縄の産業の持続的な発展に寄与

(施策) ①テクノロジーが集積する環境づくり、②スタートアップの創出、多様な交流の促進  
③海外ビジネス交流の促進

Okinawa Smart Industry Innovation Vision

# おきなわ Smart 産業ビジョン

～ ResorTech Okinawa による産業変革の推進 ～

問い合わせ先

沖縄県商工労働部 情報産業振興課

電話098-866-2503



# 沖縄県所得向上応援企業認証式 開催

～第1回目の認証式で16社の企業が認証されます～



沖縄県所得向上応援企業認証制度

- 子どもの貧困問題の解決や県民所得の向上を目的に、**従業員の所得向上に積極的に取り組む企業**を認証する制度を**全国に先駆けて本年4月からスタート**し、審査の結果、今回**16社**を認証。
- 今後、県では認証に関するインセンティブの付与に取り組むとともに、「奨学金支援制度」の支援額の割り増し等、**認証企業の支援**に取り組む。
- 記念すべき第1回目の認証式を**本日11：30**に**第2特別会議室**で開催。その際、認証企業から一言ご挨拶を頂く予定。



# 沖縄観光に関する 県民意識調査

【概要版】



令和4年3月  
沖縄県文化観光スポーツ部

沖縄県文化観光スポーツ部  
観光政策課  
担当：仲宗根  
連絡先：866-2763 9

# 調査概要

## (1) 調査の目的

沖縄観光に関する県民の意識やニーズ及び行政に対する要望等を把握して客観的かつ合理的な分析を行い、実効性の高い観光施策の企画・立案・評価及び沖縄観光ブランドの構築に資することを目的とする。

## (2) 調査項目

- ①観光客との接点
- ②沖縄観光に対する意識
- ③観光産業に対する意識
- ④観光施策の重要度・達成度
- ⑤観光客来訪による影響
- ⑥観光税の導入に対する意識
- ⑦コロナ収束後の観光に対する意識
- ⑧持続可能な観光に対する意識
- ⑨将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見
- ⑩回答者の年齢、性別、職業などの基本属性

(3) 調査対象 県内に居住する満15歳以上、満75歳未満の男女

(4) 調査方法 WEBアンケート調査及び郵送調査※

(※調査対象世帯の郵便受けに調査票を投函し、郵送又はWEB経由で回収)

(5) 調査期間 WEBアンケート調査：令和4年1月28日(金)～2月28日(月)  
郵送調査：令和4年3月9日(水)～3月25日(金)

(6) 回収結果 有効回収数 2,539人  
(うち郵送調査回収分は168人)

(参考) 前回調査  
調査期間 令和元年10月4日(金)～11月6日(水)  
有効回収数 1,555人

# 調査結果（主なもの）

## ● 観光客との接点

- 観光客を「よく見かける」割合は、日本人50.6%、外国人26.6%と日本人が外国人を上回る。前回調査と比べると、**外国人観光客を見かける頻度が減少し、日本人観光客を見かける頻度が大きく増加。**

## ● 観光客来訪による影響

- 観光客が訪れることによる影響としては、「地域産業が発展する」が41.0%で1位となった。前回調査は「**混雑により、交通が不便になる**」が48.3%で最も高かったが、今回調査では**16.2ポイント減の32.1%で2位となった。**

## ● 観光発展への期待

- 観光の発展を期待する人の割合は、**沖縄県全体としては「期待する派（とても思う+やや思う）」が73.1%を占めており、観光の発展への期待は大きい。**

## ● 沖縄の発展における観光の重要性

- 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか尋ねたところ、「とても思う」が50.3%と約半数を占めた。「**やや思う**」を加えると、**82.8%の人が観光の重要性を評価している。**

# 調査結果（主なもの）

## ● コロナ収束後における観光推進の重要度と理由

- コロナ収束後の観光推進の重要度については、**78.8%**（とても思う+やや思う）が重要であると認識している。

## ● 観光産業への就業意向・就業推奨意向

- 未就業者に観光産業への就業意向について尋ねたところ、「働きたい層（働きたい+やや働きたい）」は**17.1%**となり、**前回調査より5.7ポイント減少**した。
- 一方、未就業者の子どもがいる人に対し、観光産業への就業推奨意向について尋ねたところ、「働かせたい層（働かせてみたい+やや働かせてみたい）」が**12.3%**となり、**前回調査より7.7ポイント減少**した。

## ● 観光産業のイメージ

- 観光産業のイメージとしては、「休みが取りにくい」が**38.7%**で最多となった。以下、「経営が不安定」**29.3%**、「仕事を通じて成長できそう」**24.8%**、「体力的な負担が多い」**23.4%**、「残業が多い」**22.9%**と続き、**上位にはマイナスイメージが多い。マイナスのイメージでは特に「経営が不安定」が大きく増加。**

- コロナ禍により多大な影響を受けた沖縄観光の回復を図るため、「沖縄観光の回復・復興に向けた考え方」に基づき、観光業界と一体となって、実効性のある取組を進める。
- 「観光関連事業者等への経営支援」や「需要喚起策」に取り組み、観光インフラや旅行需要の回復を促進させ、観光収入の増加を図る。
- 沖縄観光のイメージ回復に向けた貢献度の可視化事業等を実施する。
- 人材の育成・確保に向けて、経営改善に取り組む観光関連事業者の人件費及びスキルアップ研修費用に対する支援やキャリアデザインを導入した観光人材の育成など、観光業界における雇用環境の改善に取り組む。
- 「世界から選ばれる持続可能な観光地」を目指し、観光客のみならず、県民や観光業従事者を含めた「人」を計画の中心に据える。
- 社会・経済・環境の三側面において調和が取れた沖縄観光の実現のため、「持続可能な観光地域づくりの追求」に取り組んでいく。



# 令和4年度沖縄県観光功労者表彰

あなたの居場所が、ここにけある



文化観光スポーツ部観光政策課  
令和4年7月22日(金)

Be.  
Okinawa

Be.  
Okinawa

# 令和4年度沖縄県観光功労者表彰

## 1. 概要

観光客の誘致、宣伝や観光資源の保護など、県の観光に顕著な功績のある個人または団体を表彰することによって、観光思想の普及と高揚を図るとともに、観光客の誘致を促進することで本県の観光振興に資することを目的とし、例年5名程度を対象に表彰している。

## 2. 表彰式

令和4年8月1日（月）の「観光の日」イベントに合わせて、パレットくもじ前交通広場にて実施予定。

# 令和4年度沖縄県観光功労者表彰

## 3. 対象

### ◇表彰状対象者（3名）

- ・ 安次富 順子 （琉球料理研究家）
- ・ 島袋 常秀 （壺屋陶器事業協同組合理事長）
- ・ 豊見山 健児 （宮古協栄バス合資会社会長）

### ◇感謝状対象者（2名）

- ・ 九州産業大学附属九州産業高等学校
- ・ 仲間 由紀恵 （県出身の女優）





# 沖縄県系移民 渡航記録データベース

opl.okinawan-migration.com

## <データベース特長>

- ①1900(明治33)～1937(昭和12)の5万件の渡航記録を収録
- ②4カ国語(日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語)対応
- ③日本語・ローマ文字検索

海外県系人  
(約42万人)



ルーツを知りたい!

## <課題>

- 世代交代により、沖縄との繋がりを確認することが難しい
- 県内でも、移民の歴史を継承することが難しい

## <効果>

- 海外県系人のウチナンチュ・アイデンティティ確認
- 県内外で移民の歴史を継承

↓  
ウチナーネットワークの継承・発展

↓  
国際交流・ビジネス振興・観光振興

沖縄県系移民渡航記録データベース

# Okinawan Migration Record Database

Okinawa Prefectural Library  
Okinawan Genealogical Society of Hawaii  
沖縄移民研究センター Center for Okinawa Migration Studies

日本語 英語 スペイン語 ポルトガル語

検索 Search Busca Procurar

## 沖縄県系移民 渡航記録データベース 1900-1937

このデータベースは、世界のウチナーンチュ（沖縄県系人）等が自身のルーツを探したり、沖縄県民が海外移民した親戚の足跡を辿ることにより、ウチナーネットワークの継承と発展を図ること目的とし、[沖縄県立図書館](#)、[ハワイ沖縄系図研究会](#)、[沖縄移民研究センター](#) が協働で開発しました。

1900年（明治33年）－1937年（昭和12年）の間に、沖縄県から海外へ渡った沖縄県系移民の渡航記録約5万件を検索することができます。

渡航記録のデータは、外務省外交史料館が所蔵している「海外旅券下付表」などから、沖縄県関係者を抜粋し編纂した図書『沖縄県史料 近代5（移民名簿I）』などにに基づき作成しています。

沖縄県立図書館は、渡航記録以外の記録を調べるルーツ調査や検索のサポートを行っています。  
[「移民一世ルーツ調査・相談サービス」](#)をご覧ください。

データベースについて

参考文献

1-20-1 Izumizaki, Naha City, Okinawa Tel: 098-894-5858

Copyright © Okinawa Prefectural Library All Rights Reserved.

戻る

申し訳ありません、名字と名前の双方が一致するものが見つかりませんでした！  
 名前の欄は空白にできません！

ただし、名字が見つかりました **玉城 (1664)**

以下の漢字のいずれかを入力し、再度検索してください。  
 (Ctrl-Cでコピー、Ctrl-Vで貼り付け)

**名前の候補から  
 選択**

アキ Aki	安保 Anho	安亀 Anki	安輝 Anki	安盛 Ansei	安祥 Ansho	安助 Ansuke	アサ子 Asako
梅榮 Baiei	梅四郎 Baishiro	米徳 Beitoku	美正 Bisei	牧松 Bokumatsu	武富 Bufu	武八 Buhachi	武一 Buichi
武今 Bukon	文栄 Bunyei	文蔵 Bunzo	武孫 Buson	武助 Busuke	武栄 Buyei	長永 Choei	長元 Chogen
長五郎 Chogoro	長一 Choichi	長次郎 Chojiro	<b>長吉 Chokichi</b>	長幸 Choko	肇三郎 Chosaburo	長三郎 Chosaburo	朝信 Choshin
長昌 Chosho	長祥 Chosho	長助 Chosuke	長太郎 Chotaro	重徳 Chotoku	忠敏 Chubin	忠亀 Chukame	忠吉 Chukichi
忠三郎 Chusaburo	忠正 Chusei	忠信 Chushin	忠三 Chuzo	傳正 Demmasa	傳吉 Denkichi	傳七 Denshichi	傳四郎 Denshiro
顔 Ei	榮長 Eicho	英人 Eijin	英四郎 Eijishiro	榮吉 Eikichi	栄子 Eiko	栄孝 Eiko	栄子 Eiko
永光 Eiko	栄正 Eisei	榮信 Eishin	永真 Eishin	榮正 Eisho	永昌 Eisho	栄助 Eisuke	英助 Eisuke
栄徳 Eitoku	英雄 Eiyu	英三 Eizo	益俊 Ekishun	福榮 Fukuei	福牛 Fukugyu	福繁 Fukuhan	福持 Fukuji
福仁 Fukujin	福壽 Fukuju	福鍋 Fukuka	福喜 Fukuki	福記 Fukuki	福正 Fukumasa	福明 Fukumei	福信 Fukunobu
福良 Fukuryo	福照 Fukusho	福助 Fukusuke	福太郎 Fukutaro	福棟 Fukuto	福徳 Fukutoku	福寿 Fukutoshi	福善 Fukuyoshi
福蔵 Fukuzo	フミ Fumi	文 Fumi	二三子 Futako	賀二 Gaji	賀實 Gajitsu	賀慶 Gakei	賀銘 Gamei
賀清 Gasei	賀盛 Gasei	源榮 Genei	源永 Genei	源華 Genei	玄永 Genei	源五郎 Gengoro	元次郎 Genjiro

沖縄県系移民 渡航記録データベース  
**Okinawan Migration Record Database 1900-1937**

[opl.okinawan-migration.com](http://opl.okinawan-migration.com)



沖縄県立図書館(OPL)  
ハワイ沖縄系図研究会 (OGSH)  
沖縄移民研究センター(COMS)

沖縄移民研究センター  
Center for Okinawa Migration Studies





# 沖縄県系移民 渡航記録データベース

opl.okinawan-migration.com

## <データベース特長>

- ①1900(明治33)～1937(昭和12)の5万件の渡航記録を収録
- ②4カ国語(日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語)対応
- ③日本語・ローマ文字検索

海外県系人  
(約42万人)



ルーツを知りたい!

## <課題>

- 世代交代により、沖縄との繋がりを確認することが難しい
- 県内でも、移民の歴史を継承することが難しい

## <効果>

- 海外県系人のウチナンチュ・アイデンティティ確認
- 県内外で移民の歴史を継承

↓  
ウチナーネットワークの継承・発展

↓  
国際交流・ビジネス振興・観光振興